

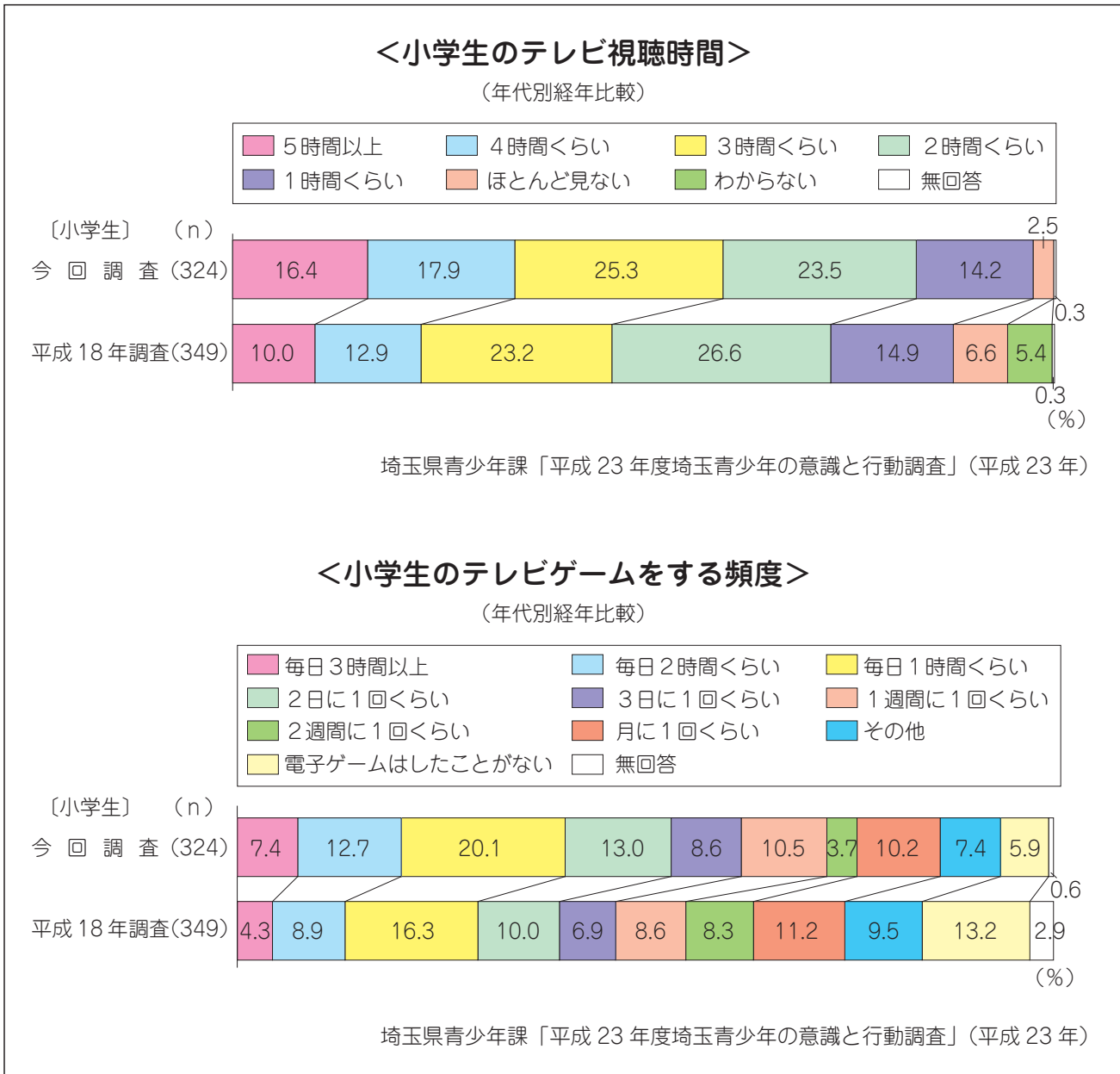
2-11

テレビやゲームの時間を減らそう ～家族と触れ合うために～

テレビやテレビゲーム、携帯電話などのメディアは、私たちの日常にあふれています。子供たちにとって、こうしたメディアとの長時間の接触は運動不足や睡眠不足、人とのコミュニケーション不足を招くこととなります。子供の成長に及ぼす影響を、親が学び具体的に子供にどう向き合っていたらよいかを考えます。



次の資料を見て、気がついたことや感想を書いてみましょう。




(感想欄)

ワーク
2

グループに分かれて、話し合ってみましょう。

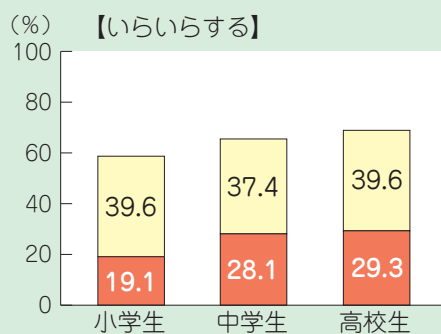
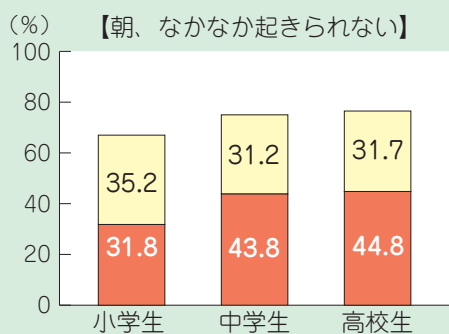
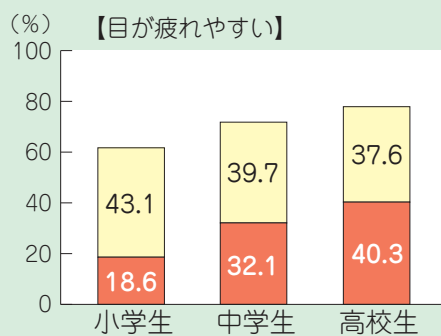
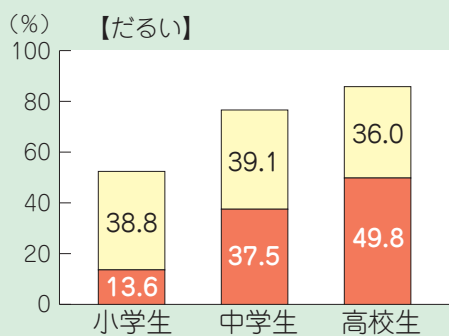
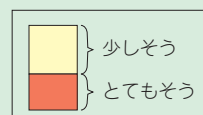
- ① メディアに長時間接触することで、子供への悪影響はどんなことですか。

- ② グループで話し合ってみましょう。



資料 1

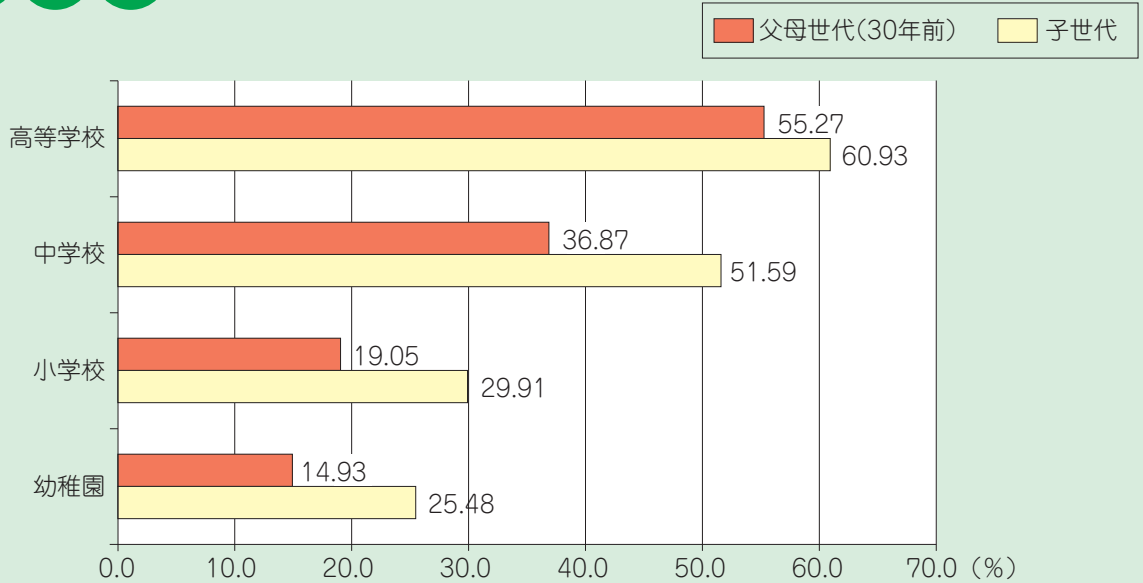
心や身体の疲れ（学校段階別）



ベネッセ教育研究開発センター「第4回学習基本調査報告書」(平成18年)

資料 2

裸眼視力 1.0 未満



文部科学省「学校保健統計調査」(平成 23 年)

ワーク 3

次の資料をもとに考えてみましょう。

「子供とメディア」の問題に対する提言

2004 年 2 月

社団法人日本小児科医会「子供とメディア」対策委員会

- 1 2 歳までのテレビ・ビデオの視聴は控えましょう。
- 2 授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴は止めましょう。
- 3 すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1 日 2 時間までを目安と考えます。テレビゲームは 1 日 30 分までを目安と考えます。
- 4 子供の部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- 5 保護者と子供でメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

① 上の資料を見て、気がついたことや感想を書いてみましょう。

② グループで話し合ってみましょう。

ワーク
4

- ① 各家庭でふれあいや団らんの時間を多くするために、メディアの上手な活用策を考えてみましょう。

- ② グループで話し合ってみましょう。

<団らんの過ごし方>

例として、「外遊び」、「家のお手伝い」、「子供との会話」、「本を読む」、「いっしょに遊ぶ」等から考えてみましょう。

ふりかえり

- ① 何を学んだり、感じたりしましたか。

- ② 今後の生活にどのように生かせますか？

